

江尻宿・清水湊コース 町や港を支えた江尻の人々 ● 約2.2km

江戸時代には駿府町奉行支配のお蔵が18棟もあり、江戸へ物資を運ぶ重要な港として活気に満ちていた清水港。現在も静岡県の重要港湾として活躍しています。その港や江尻の町を支えたのは色々な人々に会えるコースです。

① エスパルスドリームプラザ

みやげ物、レストラン、ショッピングモール、映画館、テーマパークミュージアム等々がある複合施設です。ちびまる子ちゃんランド、清水すし横丁、清水サッカーショップなどここならではの魅力的な施設をぜひ堪能してください。

② 清水港

清水港は家康公により徳川水軍の拠点となっていました。江戸時代には甲斐、信濃から富士川水運を利用した年貢の集積拠点となり、幕府直轄地となっていました。明治にそれが剥奪され、その後、開港場に指定され、お茶の輸出港として外国との貿易が始まりました。現在は国の特定重要港湾、国際貿易港として地域経済を支えています。

③ 塚間の渡し

御穂神社の参道は興津から海路をのぼり、塚間からは陸路に変えて約13丁の道程でした。鎌倉時代(13C)から神社への参拝には、興津から塚間の渡し舟を利用しており、江戸時代に三保の領主は神社の宮司と清見ヶ関の関守もかねていたようです。現在、水上バスでの「塚間の渡し」は、日の出埠頭から三保塚間までわずか10分で行き来し、通勤の足となっています。

塚間の渡しの途中にあった貝島には家康の「貝島御殿」がありました。

④ 清水港船宿記念館「末廣」

明治19年(1886年)に次郎長が開業した船宿「末廣」を復元した建物です。清水港の振興、富士山麓の開墾事業など次郎長が地域のために奔走した晩年の姿を知ることができます。

●10:00~18:00 ●休/月曜日・年末年始(祝日の場合は翌日) ●無料

⑤ 甲州廻米置場跡

江戸時代、甲州や信州からの年貢米が集められた場所で、ここから江戸に運ばれました。巴川沿いに甲州廻米置場跡の石碑が立っており、その道路を隔てた向かい側には今でも山梨県の県有地となっています。

⑥ 梅蔭禅寺

開山は足利時代と言われる由緒ある臨済宗のお寺で、次郎長の側近の執政・小政・増川仙右工門、生涯愛しつづけたお蝶夫人も眠る次郎長の菩提寺です。墓石は明治政府の大臣も勤めた榎本武揚の書によるもの。銅像や遺品等が展示されています。

●9:00~16:00 ●年中無休 ●拝観料/300円(資料館含む)

⑦ 清水湊次郎長生家

清水次郎長(1820~1893)。本名は山本長五郎。子どもの時から乱暴者で知られ、遊侠の世界に身を投じましたが、明治維新の際には駿府総督府判事に。過去の罪を免じられて道路探索方を命じられ、以来、地域の顔役として港の振興、英語塾などによる人材育成、開拓事業等を手がけました。

●10:00~16:00(平日)・10:00~17:00(土日祝日) ●休/火曜日・年末年始(祝日の場合は翌日)



⑧ 壮士の墓

旧幕府海軍副総裁の榎本武揚が率いて品川沖から脱走した艦隊のひとつである威臨丸は、暴風雨による破船のため清水湊に停泊したところを新政府海軍に発見され、見張りで船に残っていた船員全員が交戦により死亡しました。次郎長は、逆賊として駿河湾に放置されていた遺体を收容、埋葬しました。次郎長の行為は、新政府軍より咎められましたが、「死者に官軍も賊軍もない」と突っぱね、のちに静岡藩大参事であった旧幕臣、山岡鉄舟に深く感謝されたといわれています。墓石の文字は鉄舟のものです。

⑨ フェルケール博物館

フェルケールとは、交通、交際を意味するドイツ語です。清水港の足跡を伝える「港の博物館」であり、人と海、港の関わり、清水港をモデルに港湾の未来などを感じられる博物館です。

●9:30~16:30 ●休/月曜日 ●有料



清水港テルファー
昭和3年製造、日本には3台しかない港湾荷役機械。現存するのは清水港のみで国登録有形文化財である



塚間の渡し
唯一、昔の清水湊の護岸次郎長堤が見える場所

波止場フェルケール博物館
清水湊の物資はこの川からで北街道の水路を経て駿府城まで運ばれています

- 旧東海道
- お勧め探訪コース
- 情報拠点
- 見どころ
- 案内板・説明板・マップ
- 写真撮影ポイント
- バス停
- 駐車場
- トイレ
- コンビニ